

Lorinser

W222 S-Class Facelift

新たな意匠で威風堂々たる姿 エッセンショーで世界初公開!!

押し出しの強いエアロによるスタイリングから
シンプルスタイルへと舵を切ったかに思えたロリンザーだが
やはりフラッグシップのSクラスはひと味違った!

ロリンザージャパン ☎06-6832-3066 www.lorinser.co.jp



取材に対応してくれたエクスポート
マネージャーのハチコイデイス氏。
今回デビューのSクラススタイリング、
すでにかなりの評判だそうだ。



両サイドを扁平押し出したフロントリップ。ロ
ードクリアランスを保ちつつスポーティなシル
エットを演出する。律びやかなホイールベースを
さらに強調するスカート。小さなパーツだが理
想的効果が高い。ルーフを低減するように調整さ
れるリアルーフスポイラー。セダンながらクーペ
っぽさも演出できる。スクエアなフィニッシュ
はスポーティなディフューザーにマッチ。強い
推されぬ様にロリンザーと分かる仕掛け。ホリ
ニウム製のセンターレグスポイラー。シンプル
だがアクセントとなる。



揺るがない
存在

www.lo



アイコンニックなアエンダー
×新作部品の生む迫力
縦スリットという新たな造形に連なるロリンザー。
ハイエンドなSクラスだからこその迫力が生じる。
収まるホイールは、RSK5 (写真左) とRS10 (右)。



エンタランスバルコニーフロアマット、アルミペダルな
どが備わった室内。アームレストにはロリンザーの旗
章がエンボス加工されている。

ひと目でロリンザーと分かる
アイコン的フェンダーが復活
フルバンパーによるエアロスタイ
リングを求め、小振りなエアロでデ
イテールアップする方式へとシフト
したロリンザー。エッセンでのワー
ルドプレミアは、フェイスリフトし
たSクラスのAMGパッケージをヘ
イスにしたプログラムだ。
トビツクは、なんといっても豪放
的なフェンダーの存在だろう。ロリ
ンザーは長らくスリットを備えたフ
エンダーをひとつのアイコンとして
きたが、ここ数年はその作品にもそ
のフェンダーが採用されてこなかっ
た。ロリンザーファンのなかには、
ちょっと物足りなさを感じたヒトも
少なくないだろう。しかし今、満を
持して、W222の後期型になってつ

いに伝統のフェンダーが復活したの
だ。しかも今作は上下のプレスライ
ンを兼ね一本の縦スリットという、
挑戦的で大胆な仕立て。もなみに見
ただけではなく、エンジン内の熱
気を排出するように機能しているとい
う。そこに収まるのは、新作の鍛
造ホイールRS10の21インチ版だ。
ボトム回りはシンプルながらライン
フロント、サイド、トランクともに
ホリニウムは抑えられており、AM
Gスタイリングのシルエフトを強化
リアアンダーはディフューザー形状
に仕立てて、左右に菱形のファイニ
ッシャーが収まることで、さらにス
ポーツテイストを引き立てている。
徹々たるフラッグシップの存在感
を、エレガントさが漂うスタイルで
仕立てたロリンザーの新作「S」の、
Sたる姿。ここに完成だ。

